

第301回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和6年9月2日(月) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮東武ホテルグランデ

3 委員の出席 委員総数 6人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 小笠原 伸 (委員長)
君島 理恵 (副委員長)
青木 敬信
新井 啓泰
宗像 信如

(2) 放送事業者側出席者 仲山 信行 (代表取締役社長)
岡本 明子 (放送部長)
渡辺 裕介 (放送部長代理)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) 次回開催日程について
(3) その他

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

令和6年8月19日(月) 16:00から放送した生放送の「B・E・A・T」について、
試聴と意見交換をおこなった。

事務局： 開局30周年に合わせた春の改編で、前年度金曜日の番組でリポーターを務めていた
お笑いコンビ「ベリーズ」(吉本興業所属)を月曜日のパーソナリティに起用しました。
レポートで培った県内各地の情報を引っ提げ、元気と笑いを届ける点がねらいです。

県内動物園等の紹介コーナー「ZOO~っとアニマル」や、アイスボックス応援コーナ
ー「Weekly ICE HOCKEY」の進行役も担当するほか、SNSの「X」を活用した大喜
利や、リスナーに「電話でクイズを出してもらおうコーナー」など、他の曜日よりも「笑
い」の要素多めの、にぎやかな生放送となっています。

試聴対象回のメッセージテーマは「ガチャガチャ(カプセルトイ)」でした。

【 番 組 の 試 聴 】

委員： 賑やかで元気なのは悪くないが、安定感に欠ける部分が目立ち、せっかく面白いことを話していても、それが伝わらないのがもったいない印象だった。

委員： 大坪さんと村田さんの2人は声のトーンが似ているので、ベリーズに詳しくない人にとっては、どちらが話しているのか分かりにくくなるのではないかと思えた。それぞれの「1人のコーナー」が有ってもよいかと思う。

委員： フリートークが2人だけで盛り上がってしまうと、「身内の笑い」になりがちで、リスナーが置いて行かれてしまう雰囲気があった。また、プロスポーツ選手など、ゲストとの対話では、フレンドリーな中にも「相手をリスペクトする姿勢」があってほしい。

委員： 「過去の名曲」を紹介するコーナーで、原稿読みが単調で、違和感があった。丁寧に読もうとしているのかもしれないが、「今日はこれをオススメしています」と感じさせる熱量もほしい。

委員： どんなメッセージテーマで展開してもよいが、もう少し掘り下げた方が望ましく、オープニングトークなどで、「なぜこのテーマなのか」と、選んだ理由なども説明があると良い。生放送レギュラー番組の担当が1年目でもあり、伸びしろはあると思うので、番組スタッフと連携し、「月曜日がいちばんおもしろい」と言わせる番組に育ててほしい。

(以上)

(2) 次回開催日程について

次回の開催を 令和6年10月7日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

(3) その他

特になし

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

番組スタッフと共有し、さらに番組の質の向上に努めることとしました。

(令和6年9月12日)

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 9月29日(日) 19時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし